

ドッグヴィル (2003)

DOGVILLE

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス

製作国 デンマーク／オランダ／スウェーデン／ドイツ／イギリス／フランス／フィンランド／ノルウェー／イタリア

色彩 Color

時間 177分

初公開日 2004/02/21

公開情報 ギャガ・コミュニケーションズ

映倫 R-15

【キャッチコピー】

美しき逃亡者があられ、一つの村が消えた。

審判の日がくる。

【解説】

床に家や道などを表わす白線を引き、必要最小限の家具などを置いただけの殺風景なセットを村に見立てて3時間弱に及ぶ全編を撮り上げ、初公開となったカンヌ国際映画祭で話題騒然となった衝撃の問題作。ギャングに追われる一人の女性をかくまうことにした小さな村を舞台に、女性と村人の関係の移り変わりをプロローグと9つのエピソードに分け、緊張感溢れるタッチで綴ってゆく。「ダンサー・イン・ザ・ダーク」のラース・フォン・トリアー監督による“アメリカ三部作”の第1弾。主演は「めぐりあう時間たち」「ムーラン・ルージュ」のニコール・キッドマン。あまりにも独創的なスタイルゆえに、撮影期間を通して戸惑い、追い詰められていく出演者たちの姿を捉えたドキュメンタリー「メイキング・オブ・ドッグヴィル ～告白～」も製作され、別途劇場公開される。

ロッキー山脈の麓に孤立する村ドッグヴィル。ある日この村の近く、ジョージタウンの方向から銃声が響いた。その直後、村人の青年トムは助けを請う美しい女性グレースと出会う。間もなく追っ手のギャングたちが現われるも、すでに彼女を隠し、その場を切り抜けるトム。彼は翌日、村人たちにグレースをかくまうことを提案した。そして、“2週間で彼女が村人全員に気に入られること”を条件に提案が受け入れられる。そうしてグレースは、トムの計画に従って肉体労働を始めることになるのだが…。

【クレジット】

監督	ラース・フォン・トリアー	Lars von Trier	
製作	ヴィベケ・ウィンデレフ	Vibeke Windelov	
製作総指揮	ピーター・オールベック・イェンセン	Peter Aalbaek Jensen	
脚本	ラース・フォン・トリアー	Lars von Trier	
撮影	アンソニー・ドッド・マントル	Anthony Dod Mantle	
出演	ニコール・キッドマン	Nicole Kidman	グレース
	ポール・ベタニー	Paul Bettany	トム・エディソン・ジュニア
	クロエ・セヴィニー	Chloe Sevigny	リズ・ヘンソン
	ローレン・バコール	Lauren Bacall	ジンジャー夫人
	パトリシア・クラークソン	Patricia Clarkson	ヴェラ
	ベン・ギャザラ	Ben Gazzara	ジャック・マッケイ
	ジェームズ・カーン	James Caan	大きな男
	ステラン・スカルスガルド	Stellan Skarsgard	チャック

ジャン＝マルク・バール	Jean-Marc Barr	大きい帽子を被った男
ハリエット・アンデルセン	Harriet Andersson	
ブレア・ブラウン	Blair Brown	
ジェレミー・デイヴィス	Jeremy Davies	
フィリップ・ベイカー・ホール	Philip Baker Hall	
シオバン・ファロン・ホーガン	Siobhan Fallon Hogan	
ジェリコ・イヴァネク	Zeljko Ivanek	
ウド・キア	Udo Kier	
クレオ・キング	Cleo King	
マイルズ・パリントン	Miles Purinton	
ビル・レイモンド	Bill Raymond	
シャウナ・シム	Shauna Shim	
声の出演 ジョン・ハート	John Hurt	